

学校教育用れきはく動画コンテンツ「寝殿造の調度品と貴族の暮らし」教師用指導略案（歴博第2展示室）

【目標】寝殿造のやしきや調度品を知ることによって貴族の暮らしに関心を寄せ、考えを深めることができる。

【展開】※設問、問題が出た後は、しばらく画面を止めて、児童生徒が考える時間を確保する。

ワークシートの設問は、その都度画面を止めるか、動画を一通り見た後で実施してもよい。

主な発問（○）と予想される児童生徒の反応（・）	指導上の留意点（◇）
<p>【動画の時間 0：13～】</p> <p>○貴族はどのような家で暮らしていたか予想してみましょう。</p> <p>・大きな家 ・寝殿造の家</p> <p>【動画の時間 0：40～】</p> <p>○貴族の家（外から見た様子）を見て、気づいたこと、不思議に思うことを考えましょう。</p> <p><u>ワークシート①</u></p> <p>・大きい。 ・池がある。 ・窓や壁がない。</p> <p>【動画の時間 1：27～】</p> <p>○部（しとみ）とはどのようなものだったのでしょうか。</p> <p>【動画の時間 2：07～】</p> <p>○十二単って何だろう。</p> <p>○どんな人が着ていたのでしょうか。</p> <p>・お姫様。 ・身分の高い人。</p> <p>【動画の時間 2：53～】</p> <p>○本当に十二枚も着ていたのでしょうか。</p> <p>・着ていた。 ・実際は着ていない。</p> <p>【動画の時間 3：20～】</p> <p>○夏も着ていたのでしょうか。</p> <p>・着ていた。 ・暑いので着ていない。</p> <p>【動画の時間 4：22～】</p> <p>○着物の配色で分かることは何だろう。</p> <p>○唐衣の色で分かることは何だろう。</p> <p>【動画の時間 5：28～】</p> <p>○十二単についてまとめましょう。</p> <p><u>ワークシート②</u></p>	<p>◇東京ドーム半分の面積であり、手前はハレの空間で儀式用。池には船。貴族は2～3の邸宅を持っていた等について適宜補足する。</p> <p>◇自由に発言させる。</p> <p>◇寝殿造の全体構造（寝殿、対屋、釣殿、遣り水等）の解説をする。</p> <p>◇壁の役割をする建具があったことに着目させる。</p> <p>◇しとみ（ど）を下ろして壁のようにし、上下に動く開閉式であったことに着目させる。</p> <p>◇十二単は「女房装束」という名前から、高貴な人に仕える女性が、宮中で仕事をする時に着る装束だということに気づかせる。</p> <p>◇沢山、重ね着をしているという意味で、そう呼ばれていたことに触れ、十二単の構成を解説する。</p> <p>◇夏と冬の装いであることを知らせずに、二つの季節の装いを対比させ、装いの違いに気づかせる。</p> <p>◇「重ねの色目」といって、季節によって唐衣の下に重ねて着る着物の配色を工夫していたことや、唐衣は身分や年齢で着る色が決められていたことを解説する。</p> <p>◇ワークシート②の問題の空欄部分を考えさせる。その際動画を巻き戻して説明してもよい。</p>

【動画の時間 5:52～】

○貴族の部屋を見て、気づいたことや不思議に思うことを考えましょう。

ワークシート③

- ・畳が少ししかない。
- ・カーテンのようなものがある。
- ・黒い色のものが多い。

【動画の時間 6:22～】

○部屋の中にはどんなものがありますか。季節や使用した人について考えましょう。

- ・畳 ・脇息 (ひじかけ)
- ・円座 (円形のしき物) ・銅鏡
- ・角盥 (洗面器) ・灯台 (灯り)

【動画の時間 7:04～】

○銅鏡はどのようなことに使っていたのでしょうか。
・化粧をした ・儀式に使った

【動画の時間 7:33～】

○角盥 はどのようなことに使っていたのでしょうか。

【動画の時間 8:07～】

○なぜ展示物として再現できているのでしょうか。
・文章で記録が残っていた ・絵があった
・道具が出土した

【動画の時間 8:40～】

○絵巻「類聚雑要抄」に描かれている調度品と展示物を比べて考えましょう。

汨杯、火取母 はそれぞれどのようなことに使ったのでしょうか。

ワークシート④

- ・お茶を飲むために使った
- ・服を掛けておくためのもの

◇壁のかわりに壁代や几帳といった調度品を使用していたことに着目させる。

◇どんな人の部屋か、いつの季節かなどについて予想させる。

◇女性の部屋であり、一日を部屋の中で過ごしたこと、目的に応じて、部屋の大きさを変えることができたこと、洗髪も排泄も部屋の中で済ませたため、多くの調度品があったこと、畳は一部だけだったこと等補足する。

◇化粧等以外の方法にも着目させる。

◇貴族は長生きを願い、鶴と松の絵を好んだ。鏡は魔除けだったことを知らせる。

◇角があること、盥であることに着目させ、自由に発言させる。

◇水やお湯を入れ、洗面道具として使ったこと。持ち運ぶために角のような長い柄がついていることを知らせる。

◇ただ単に想像しているだけではないことに着目させ、発言させる。

◇古文書・絵巻をもとに再現され、春日権現記伝、類聚雑要抄を参考にしたことを知らせる。

◇絵画資料と展示物を比較させ、古文書をもとに再現していることに気づかせる。

◇汨杯は髪の毛に使ったもの、火取母は風呂に入らなかったことに着目させ、考えさせる。

◇今の生活道具で似ている役割のものは何か考えさせる。

◇汨杯は髪の毛を洗うための米のとぎ汁を入れておく容器。火取母は、着物についた臭いを消すために香を焚くものであることを知らせる。

【動画の時間 9:40～】

- 御帳台^{みちょうだい}はどのようなことに使ったのでしょうか。
・ベッド ・偉い人がいるところ

【動画の時間 10:12～】

- 貴族は日々、どのようなことをして過ごしていたのでしょうか。

ワークシート⑤

- ・政治を行っていた ・遊んでいた

【動画の時間 10:52～】

- 展示を見るにあたってのポイントとはどのようなことでしょうか。

【動画の時間 11:26～】

- 平安時代の貴族の暮らしについて、まとめましょう。

ワークシート⑥

- ・多くの道具を使っていた。
・仕事、行事がたくさんある。

◇周囲は帷^{とばり}があることに着目させ、何に使ったか自由に発言させる。

◇貴族の寝室であり、魔除けのため、銅鏡や狛犬、獅子を設置したことを知らせる。

◇寝殿造の家、優雅な暮らしなどを連想させ、自由に発言させる。

◇天皇のそばに仕えて儀式を行ったり、地方官の成績評価を行ったりと、いそがい生活だったことや、仕事では、決められた作法や手順が重視されたため、毎日のことを日記に細かく記録したことに触れる。

◇文字資料、絵画資料、考古資料を関連づけて見ることが大切であることを伝える。

◇貴族の暮らしについてわかったこと、気付いたこと、意外だったことなどを自由に記述させる。